

広島「被爆体験証言者」の想いを VR で後世に引き継ぐ！ タイムカプセルプロジェクト 始動！ 短編記録映画 8月15日 WEB 公開

「時代の記憶」を令和へ。タイムカプセルプロジェクト始動！

タイムカプセルプロジェクトとは、薄れゆく明治・大正・昭和・平成の「記録・記憶・文化・想い」を、最先端映像技術（3DVR）を駆使したドキュメンタリーで残し、令和へ引き継ぐためのプロジェクトです。

どうして現在があるのか？どんな未来を作るべきなのか？年号が令和に変わった今、人々にもう一度考えてもらえるきっかけを作る。

「歴史アーカイブ」というプレゼントを次世代へ残すことが、5年後…10年後に繋がる大きな意味を持つ事だと考え今プロジェクトが発足しました。

コンセプト映像 URL : <https://youtu.be/bDHW12Ohk7g>

プロジェクト第一弾は「広島被爆体験証言者」



高齢化を理由に、近い将来いなくなってしまうと言われている被曝体験証言者。

（公財）広島平和文化センターに所属していた被爆体験証言者は一番多い時で49名いました。しかし、現在は38名に減少しています。その大半がすでに80歳を超えています。戦争の事実・悲惨さ・教訓・命の重さを次世代に引き継ぎ平和について考えてもらうために、被爆体験証言者の想いをアーカイブします。**被爆体験証言者の方をVRで残すのは日本で初の試みです。**

今回は**広島平和記念資料館の協力を得て、被爆体験証言者の川崎宏明さんが出演。**原爆投下時の様子、戦争・核兵器の恐ろしさ、被爆体験証言者の現状、そして未来を担う人々へのメッセージを語っています。**また、本編内には被爆体験証言者の体験を元に描かれた「原**

爆の絵」が随所に使用されています。映像ではなくあえて絵で表現される事で、視聴者の想像力を刺激し、より深く戦争の悲惨さを考えられる内容になっています。

被爆体験講話のアーカイブは VR180 を使用

今プロジェクトはインタビュー形式の 2D ドキュメンタリーと、被爆体験証言者の講話を 3DVR で収めた記録映像の 2 パートで構成されています。

講話は Google が 2017 年に発表した、前方 180 度の撮影に特化した VR フォーマット「VR180」を導入しました。

人間の視野角は両眼視でおよそ 90° ~100° です。VR180 は、それを超えた 180° で左右上下を 3D で映し出せるため、実際にその場所にいるような、目の前で人と話しているような臨場感を味わえるフォーマットです。

数年後には聞けなくなってしまうかもしれない被爆体験証言者の生の言葉や息遣いまでもが感じられる、3DVR の強みを前面に出した体験型の記録映像になっています。

監督は世界でも高い評価を受ける清水健斗

企画・取材・監督を務めたのは映画監督清水健斗。

3. 11 を題材にした「漂流ポスト」が国内だけでなく世界からも高い評価を受け、今年 6 月に行われたニース国際映画祭では外国語映画短編部門で最優秀作品賞を獲得するなど、丁寧な取材と人間の機微を絶妙に引き出す事ができる数少ない若手監督です。

今作も広島に何度も足を運び取材と交渉を重ねた結果、広島平和記念資料館の協力を得る事ができ制作に繋がりました。

また、DayDream by Google × YouTube × VR Scout が行った世界的なプロジェクト「VR Creator Lab」の日本代表 1 2 名のクリエイターにも選ばれるなど映画演出だけでなく最先端の技術にも精通している。

清水健斗のコメント：

映像を作る人間として未来へ「残す」というのは、非常に大切な事だと考えています。東日本大震災以降、私は映像ができる社旗貢献というのはどんな事なのかずっと考えていました。その中で、広島に被爆体験証言者が減少の一途を辿っていることを再認識し、今回の企画を考えました。

平成は唯一戦争が無かった時代です。その反面、人々の記憶からは「戦争」の悲惨さや争いが引き起こした悲劇が薄れていっています。時代が令和に変わった今、戦争の悲劇を繰り返さないために「被爆体験証言者の体験談」は残さなければいけないと考えています。失って初めて気づく物は多くあります。それはどんなに技術が進歩しても「何か」を残しておかなければ復元することはできません。今できる技術で様々な物事を「アーカイブ」することはきっと未来に役立つと信じています。

公開は8月15日を予定

オフィシャルHP 開設と共に、動画公開の予定です。

このタイムカプセルプロジェクトのターゲットは令和を担う若い世代です。映像のあり方が多様化する中、WEB 上に社会的道徳や啓蒙啓発につながるコンテンツが少ないという観点からWEBメインで公開という判断に至りました。

今後も明治・大正・昭和・平成が残してきた「時代の記憶」をアーカイブしていく予定です。

なお、今作はクラウドファンディングサイト CAMPFIRE で制作費・編集費の一部の支援を募っています。

<https://camp-fire.jp/projects/view/180817>

スタッフリスト

企画・取材・監督：清水健斗

撮影：川口雄介

出演：川崎宏明（被爆体験証言者）

音楽：伊藤明日香

協力：広島平和記念資料館啓発課 / 広島フィルムコミッション / シネマプランナーズ

【清水健斗 プロフィール】・・・別途資料を参照ください

つきましては、本ニュースご紹介をしていただきますよう何卒宜しく申し上げます。

●お問い合わせ先

タイムカプセルプロジェクト（担当：清水）

tel: 090-1708-3220

mail: kento3220@mac.com